

# Investor's Report

2025年3月期 第2四半期

[ 2024年4月1日～2024年9月30日 ]



それじつは、  
シンメイワ。

洋上でも離着水できる「飛行艇」は

迅速かつ、スムーズな

救命活動を可能にします。

そんな特別な飛行機を

つくっているのも、

じつは、新明和グループです。

© 今日マチ子

## 株主の皆様の「声」をお聞かせください

### アンケートフォームへのアクセス方法

今回の「Investor's Report」の内容や、当社のIRIに関するご意見をお聞かせください。

右の二次元コードからアンケートフォームにアクセスしていただけます。

回答してくださった方の中から抽選で、薄謝（QUOカードPay 500円分）をお送りいたします（メールアドレスのご入力が必要となります）。2025年1月31日まで受け付けておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



▼こちらから



## Contents

トップメッセージ	1
連結業績ダイジェスト/ セグメント情報	3
事業解説 特装車セグメント	5
サステナビリティ	6
企業情報・株式に関する情報	7

## 中期経営計画[SG-2026]は 順調な滑り出し

業績目標の追求とあわせて  
法令順守の徹底に取り組む

取締役社長 **五十川龍之**



株主の皆様には、いつも当社グループを応援していただき誠にありがとうございます。  
また、パーキングシステムに続き、特装車事業においても公正取引委員会の検査対象となったことにつきまして、冒頭お詫び申し上げます。

### 1. 2025年3月期 上期の振り返り

中期経営計画[SG-2026](以後、[SG-2026])に取り組んで半年余り経ちました。10月末に開示した2025年3月期第2四半期決算は、会社計画に対しておしなべて順調な仕上がりとなりました。各セグメントが健闘、尽力した結果ではありますが、主な理由として

- ・ 2024年3月末時点で1年を超える受注残高を有していたこと
- ・ 特装車セグメントで、過去2回実施した価格改定効果の顕在化、シャシ搬入ペースの回復が見られたこと
- ・ ある程度円高を想定した為替レート(1ドル=140円)を設定していたこと
- ・ 事業特性上、下期に収益が集中する流体セグメントが、傘下のグループ会社の貢献もあり、第1四半期から黒字化できたことなどが挙げられます。

### 2. 2025年3月期 通期業績見通し

今年度の通期業績予想につきましては、特装車、パーキングシステム、産機・環境システム各セグメントが期初予想に対して減収を見込み、全体でも減収となるものの、営業利益は期初予想の130億円を据え置いております。

#### 通期業績予想

(単位:億円)

セグメント	2025年3月期(通期)			
	売上高(期初)	売上高(直近値)	営業利益(期初)	営業利益(直近値)
特装車	1,127	1,093	42	43
パーキングシステム	498	472	30	32
産機・環境システム	453	341	30	24
流体	259	262	38	40
航空機	347	349	22	20
その他	166	183	8	11
調整額	—	—	△40	△40
計	2,850	2,700	130	130

順調に進捗した上期に対して、下期は

- ①円高の進行
  - ②近年成長著しかったEV(電気自動車)向け設備投資の一服感
  - ③世界各所で繰り広げられている紛争、日米のトップ交代等による経済情勢の変化
- 等がどのように影響するのが懸念されます。

「円高進行」については、当社が設定した為替レート(1ドル=140円)を超える状況となった場合、収益の一部をドルベースで計上している航空機セグメントや産機・環境システムセグメントの業績への影響を案じております。

また、ここ数年、産機・環境システムセグメントにおいて飛躍的成長を遂げたEV市場向け設備は、短期目線では投資意欲に鈍化がみられるものの、今は踊り場にあると見ており、回復期の需要を確実に獲得するべく、この間に市場の変化を織り込んだ製品開発にグループを挙げて取り組んでおります。

加えて、世界各所で紛争が勃発・継続する中、下期に入って我が国、そして米国のトップが相次ぎ交代し、各々の政策転換が世界経済にどう影響するのかについても注視しております。

なお、当社グループも各所で人手不足の声が聞こえており、採用活動を行ってはいるものの、その定着と習熟が課題となっておりつつあります。

### 3. [SG-2026]目標に対する現状分析

当社グループの目指すべきゴールは、2030年にあります。現在推進している[SG-2026]は、そこに向かう通過点です。長期経営計画[SG-Vision 2030]では、経営指標の追求とあわせて、長期ビジョンの姿に至ることを目指して活動しております。

#### 長期ビジョン

グローバルな社会ニーズに応え、  
都市・輸送・環境インフラの高度化に貢献する  
価値共創カンパニーを目指します。

この前提に立ち、[SG-2026]では、次の6項の基本方針を推進しております。

- ① 持続的成長の実現
- ② 事業ポートフォリオ・マネジメントの実践
- ③ ROIC経営の浸透と推進
- ④ 人的資本の強化
- ⑤ 製品・サービスを通じた環境、社会への貢献
- ⑥ リスクマネジメント・コンプライアンスの強化

## (1) 収益拡大

このうち、①～③は業績目標を志向した、収益拡大の方針です。

### ① 持続的成長の実現

「海外展開加速」「戦略的M&A」「DX推進」「新事業創出」に取り組む中、今年度の上期は「DX推進」において、事業の価値向上、収益に直結する生産性向上、そして日々変化する外部環境下、適時的確な判断を下すうえで欠かせない経営データのシステム化などに取り組んでまいりました。

### ② 事業ポートフォリオ・マネジメントの実践

企業価値の最大化を目指し、今般、5つのセグメントを各ROIC値から「成長力強化事業」と「収益力強化事業」に分け、注力点を意識した活動を実践しております。

	対象セグメント	注力点
成長力強化事業	流体 産機・環境システム パーキングシステム	海外展開やM&A等 への積極投資
収益力強化事業	特装車 航空機	増産対応および、 競争力強化を視野に 入れた投資の実践

### ③ ROIC経営の浸透と推進

②の取り組みは、現状ROIC値が比較的高い3セグメントはさらなる向上を、また「収益力強化事業」の2セグメントはROICの向上を意識した事業運営への転換を目指します。投資内容の見極めとともに、「ROIC逆ツリー」を展開し、職場単位で役割の「見える化」を進めるなど、ROIC経営の浸透を促進しております。

## (2) 経営基盤強化

[SG-2026]基本方針の④～⑥は、経営基盤を強化する方針です。

### ④ 人的資本の強化

成長戦略を実践するのは「人材」です。当社グループの成長を促すうえで、専門性を有した人材の採用と並行して、DX分野やグローバルに活躍できる人材育成と新規獲得に努めております。

### ⑤ 製品・サービスを通じた環境、社会への貢献

当社では、CO<sub>2</sub>排出量を把握する取り組みとして、Scope1(自社の活動による直接排出)、Scope2(エネルギー起源による間接排出)を導入していますが、今年度からはScope3(自社事業の

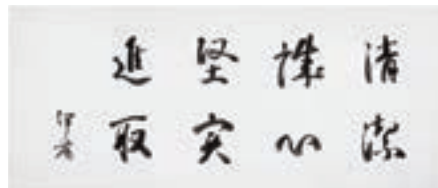
活動に関連する他社の排出)導入の検討も始めております。

また、製造業を主とする当社グループにおいて、製品の環境負荷低減を通じて環境、社会に貢献することも重要視しており、一部事業で適用している独自基準「環境適合製品」の認定制度化の検討にも着手しております。

加えて、ステークホルダーの皆様へ、当社グループの取り組みについてさまざまなかたちで発信するなど、存在価値をご理解いただく取り組みにも注力しております。

### ⑥ リスクマネジメント・コンプライアンスの強化

社は



進取 堅実 誠心 清潔

経営理念

新明和グループは、たゆまぬ技術革新で、  
安心な社会と快適な暮らしを支え続け、  
人々の幸せに貢献します。

昨今、企業の不祥事に関する報道が後を絶ちません。当社においても、2023年9月にパーキングシステム事業部が公正取引委員会の立入検査を受け、現在も検査は継続しておりますが、この11月にも、今度は特装車の販売価格の決定に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、特装車事業部とグループ会社の東邦車輛株式会社が立入検査を受けることとなり、株主の皆様には、大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、会社を代表し衷心よりお詫び申し上げます。

昨年の立入検査を受けまして、独占禁止法の順守に関する教育の実施や、業務において競合他社の役職員と接触する場合のルールを新たに制定するなど具体的な対応を種々行ってまいりました。こうした矢先に、特装車事業が新たな検査対象となった事実を大変重く受け止めております。

現段階では、今回の検査対象が、前回立入検査を受けた以前の案件であるかなど、詳細は明らかになっておりませんが、まず、私たち役員一同が鑑としている「社は」「経営理念」を日々意識した経営を推進すること、そして役職員が「行動規範」「行動指針」を体現する地道な取り組みを通じて、ステークホルダーの皆様から、再び、真に信頼していただける企業グループとなるよう、心して取り組んでまいります。

株主の皆様には、多くの銘柄の中から当社株式を保有いただいておりますことに感謝申し上げますとともに、そのご期待に反しまして、長期にわたりご心配をおかけする事態を招いておりますこと、まずは心からお詫び申し上げます。

# 連結業績ダイジェスト

POINT

## 売上高

中間期として、2024年3月期に記録した過去最高を更新。  
産機・環境システムを除く全てのセグメントが増収となった結果、全体も増収。通期見通しは、前年度比で増収を見込む。

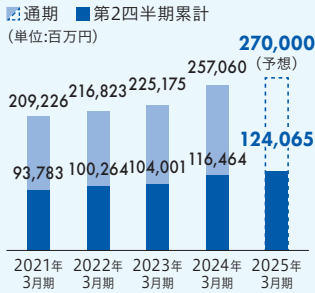
## 利益

営業利益：産機・環境システムを除く全てのセグメントで増益となり、全体では大幅増益。  
経常利益/親会社株主に帰属する中間純利益：いずれも営業利益の増益に伴い増益。  
通期見通し：いずれも前年度比で増益を見込む。

### 売上高

124,065百万円

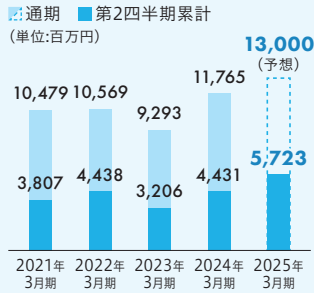
対前年同期比 6.5%増 ↑



### 営業利益

5,723百万円

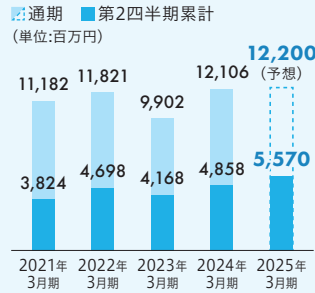
対前年同期比 29.1%増 ↑



### 経常利益

5,570百万円

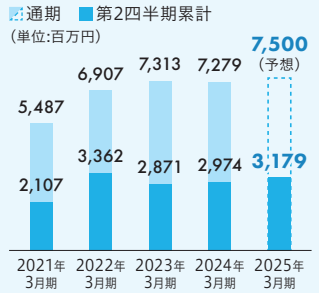
対前年同期比 14.7%増 ↑



### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

3,179百万円

対前年同期比 6.9%増 ↑



2025年3月期 第2四半期(実績)

2025年3月期(通期予想)

1株当たり中間(当期)純利益

48円 16銭

113円 48銭

配当金

25円 00銭

50円 00銭

## セグメント情報

主要5事業の製品/サービス内容の詳細は、当社ウェブサイトに掲載しております。詳しくはこちらからご確認ください。



### 特装车

ニーズに合わせた「働く車」を製造・販売。  
作業性と安全性を共に満たす品質を追求しています。

主要製品/サービス

建設関連車両：リヤダンプトラック、ミキサ車  
物流関連車両：テールゲートリフタ、トレーラ、タンクローリー  
環境関連車両：塵芥車(ごみ収集車)、脱着ポデー車  
高性能林業機械

### パーキングシステム

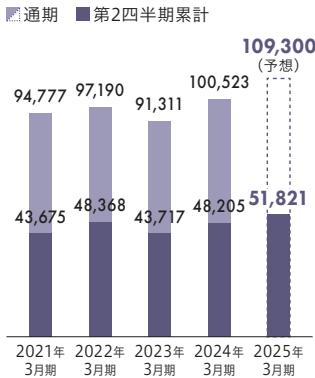
快適なモビリティ社会の実現をサポート。  
都市インフラを支えるソリューションを提供しています。

主要製品/サービス

エレベータ方式駐車設備  
二多段方式駐車設備  
コインパーキング  
航空旅客搭乗橋

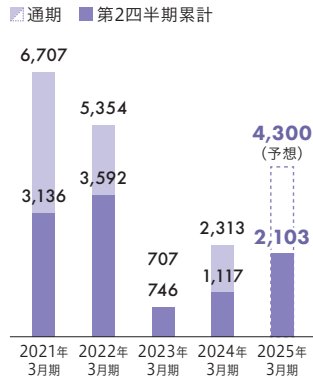
### 売上高

(単位:百万円)



### 営業利益

(単位:百万円)



2025年3月期  
第2四半期  
業績概要

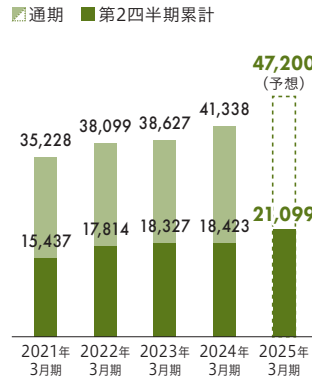
- 建設、物流、環境各分野、および林業機械いずれも増収。
- 運営費が増加したものの、増収効果と売価改善効果により営業利益は増益。

2025年3月期  
通期業績  
見通し

- 高水準の受注が寄与し、前年度比で増収を見込む。
- 増収、売価改善効果により、前年度比で増益を見込む。

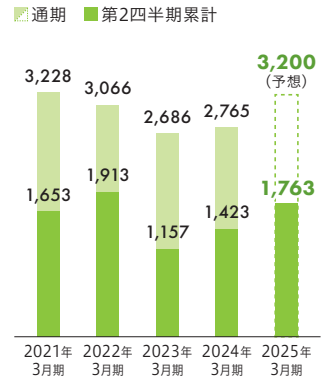
### 売上高

(単位:百万円)



### 営業利益

(単位:百万円)



2025年3月期  
第2四半期  
業績概要

- 機械式駐車設備は改修、リニューアル分野が増収、航空旅客搭乗橋も増収。
- 運営費が増加したものの、増収効果がこれを上回り増益。

2025年3月期  
通期業績  
見通し

- 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、いずれも前年度より増収を見込む。
- 増収効果により、前年度比で増益を見込む。

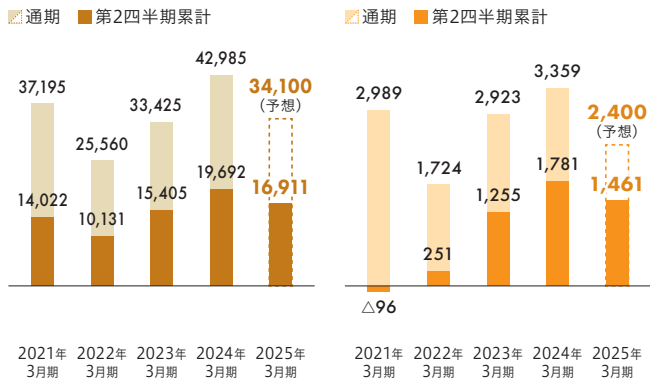
## 産機・環境システム

社会インフラを支える技術力、エンジニアリング力が強み。  
EV化や循環型社会の促進に貢献。

主要製品/  
サービス

- 自動電線処理機
- 真空乾燥装置
- ダイレクトドライブモータ
- ごみ中継施設

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)



- 2025年3月期 第2四半期業績概要**
- 環境関連は増加したものの、メカトロニクス製品が投資抑制等の影響により大幅減収。
  - メカトロニクス製品の落ち込みが影響し、営業利益も減益。
- 2025年3月期 通期業績見通し**
- 環境関連は増収を見込むも、メカトロニクス製品の減収傾向が続くと想定し、前年度比で減収を見込む。
  - 環境関連は前年度と同水準の利益を計画するも、メカトロニクス製品の落ち込みをカバーできず減益を見込む。

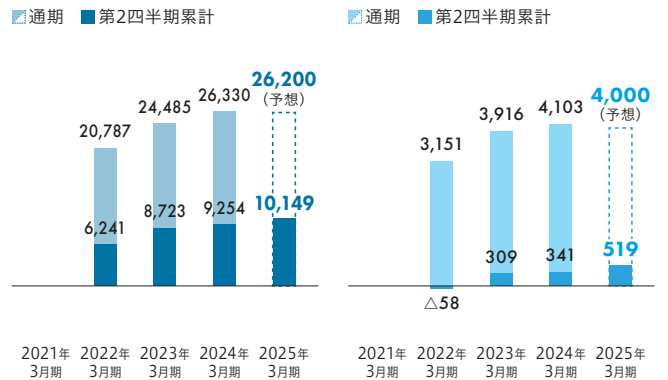
## 流体

水インフラへの貢献を通じて生活環境を守る。  
水環境の維持、水害対策に寄与する製品群が強み。

主要製品/  
サービス

- 高効率・高通過性水中ポンプ
- 水中ミキサ
- 立軸槽外型ポンプ(雨水排水分野向け)
- 空気軸受式可変単段ターボプロフ

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)



- 2025年3月期 第2四半期業績概要**
- ターボプロフなど海外売上高が好調で、全体も増収。
  - 運営費の増加を増収効果および売価改善でカバーし、営業利益も増益。
- 2025年3月期 通期業績見通し**
- 好調だった前年度とほぼ同水準の売上高を見込む。
  - 営業利益も、前年度とほぼ同水準となる計画。

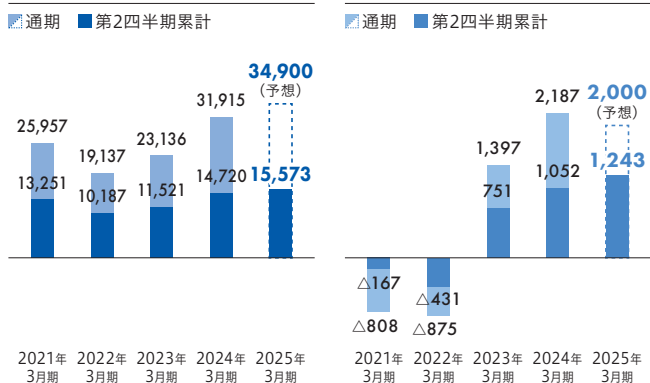
## 航空機

祖業の航空機技術を礎に、海と空で活躍。  
固有技術と経験を糧に航空機の可能性を探索。

主要製品/  
サービス

- US-2型救難飛行艇
- ボーイング社大型航空機「777」向け翼胴フェアリング
- ボーイング社中型航空機「787」向け主翼スパー
- 固定翼型無人航空機 ※開発段階

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

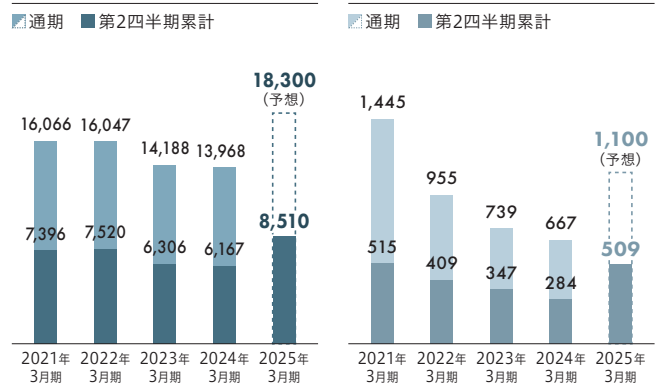


- 2025年3月期 第2四半期業績概要**
- 防衛省関連の部品製造、民需関連はボーイング向け部品製造がいずれも増収。
  - 運営費の増加を増収(為替の円安効果含む)でカバーし、営業利益も増益。
- 2025年3月期 通期業績見通し**
- 主に防衛省関連の増収が寄与し、前年度比で増収を見込む。
  - 収益性の高い民需関連の構成比が減少することから、前年度と同水準の仕上がりを見込む。

## その他

建築・土木、不動産・人材派遣業、ITインフラ構築等、  
グループ経営をサポートする横串機能。

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)



- 2025年3月期 第2四半期業績概要**
- 建設業の増収により、全体も増収。
  - 増収に伴う増益。
- 2025年3月期 通期業績見通し**
- 上期の増収傾向が下期も継続し、前年度比で増収を見込む。
  - 増収に伴い前年度比で増益を見込む。

## 特装車セグメント

中期経営計画[SG-2026]の期間中、最も高い成長率の目標を掲げているのが特装車セグメントです。同セグメントはグループ全体の約4割の売上高を占めており、業績に与える影響もこれに比例するため、[SG-2026]では「収益力強化事業」の指定に基づき、諸活動を行っています。

今回は最も規模の大きな特装車セグメントについて、基本情報と主な収益拡大策を紹介します。

### 1. 「特装車」とは？

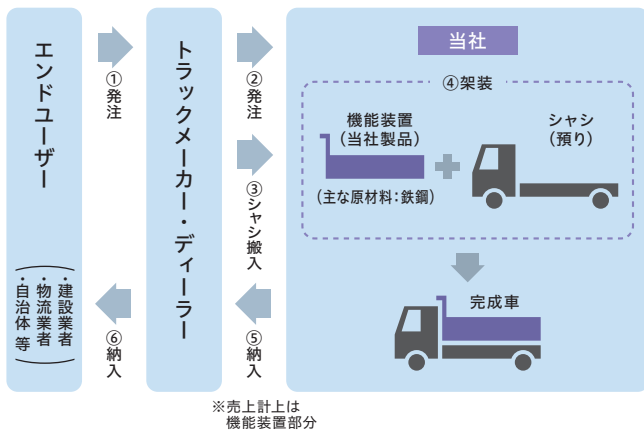
シャシーメーカーが製造した車台に、用途に合った機能装置を取り付けた車両を指します。

当社主力製品のダンプトラック、塵芥車、脱着ボデー車、テールゲートリフタの他に、消防車や高所作業車なども特装車の一種です。

当社は、①機能装置の開発・製造、②機能装置のシャシーへの取り付け等を担っています。

### 2. 受注～製造～納品の主な流れ

以下の図のとおり、当社の主なお客様は、シャシーを製造するトラックメーカー、もしくはそれを販売するディーラーで、各社を介して実際に車両を使用されるエンドユーザーに販売されます。



### 3. 取扱製品 (カテゴリ)

特装車セグメントは、多様なカテゴリのトレーラを含む特装車と林業機械を製造・販売しています。

カテゴリ	代表製品
特装車	建設関連車両 ・リヤダンプトラック <b>国内トップシェア</b> ・ミキサ車
	環境関連車両 ・塵芥車 (ごみ収集車) <b>国内トップシェア</b> ・脱着ボデー車 <b>国内トップシェア</b>
	物流関連車両 ・テールゲートリフタ <b>国内トップシェア</b> ・トレーラ ・タンクローリ 
林業機械	・高性能林業機械 <b>国内トップシェア</b> 

### 4. 特装車セグメントを構成するグループ会社

特装車セグメントは、特装車事業部と9つのグループ会社が連携して運営しています。

グループ会社名	主な事業内容
イワフジ工業株式会社	林業機械の製造・販売
新明和オートエンジニアリング株式会社	各種特装車の保守・修理、関連部品販売
新明和オートセールス株式会社	中古自動車の販売、搬送機器他の製造・販売・保守
株式会社イー・エス・エヌ	関西地区および静岡県東部地区における特装車のアフターサービス・特殊車両～軽車両の車検、部品販売
東邦車輛株式会社	トレーラ、タンクローリ、ウイングバンなどの特装車の製造・販売・保守・修理
東邦車輛サービス株式会社	関西地区のトレーラ、タンクローリ、ウイングバンなどの特装車の保守・修理
株式会社OSK	油圧ポンプ、減速機他油圧機器部品の製造および販売
株式会社WAKO	油圧ポンプ、減速機他の鋳造加工、めっき加工
Thai ShinMaywa Co., Ltd.	特装車部品などの製造・販売および流体製品の製造

### 5. 中期経営計画[SG-2026]で掲げる目標値と収益拡大施策

#### (1) 特装車セグメント 目標値

[SG-2026] 目標売上高	2025年3月期 売上高予想値	[SG-2026] 目標営業利益	2025年3月期 営業利益予想値
1,322	1,093	73	43

(単位:億円)

#### (2) 収益拡大策

- 高水準にある受注残高の早期収益化
- 売価改定効果の早期刈り取りに向けた生産増強と高付加価値化
- 航空機セグメントと協力し、防衛関連事業を強化
- サブスクリプションビジネスの拡大
- 供給能力を強化したThai ShinMaywa Co., Ltd.の活用や、販売協力先等の開拓によりコンポーネント製品等の販売を拡充し、次の手段で海外事業を拡大
  - ・ タイ現地法人を活用した機能部品販売の拡充
  - ・ 提携先拡大によるコンポーネント製品の拡販

増産対応、積極投資の実践を通じて収益力と資本効率を高め、グループで協力して目標値達成を目指してまいります。

## 「統合報告書 2024を発行」

### セグメント代表へのインタビュー、監査役対談を掲載

本年9月末、当社にとって3号目となる統合報告書を発行しました。

前回から誌面構成に大きな変化はありませんが、新たに次の3点を掲載しました。

(1)セグメントを束ねる事業部長、本部長インタビュー

(2)監査役2名による、企業統治をテーマにした対談

(3)前中期経営計画[SG-2023]で飛躍した二つのセグメント長と社長による鼎談

ここでは、各概要を紹介するとともに、統合報告書に遷移する二次元コードを併記しております。

ぜひ、公式ウェブサイトから「統合報告書 2024」にアクセスいただき、これらのコンテンツをはじめ、当社グループのこの1年の活動内容をご覧ください。



詳しくはこちら



#### (1) セグメントを束ねる事業部長、本部長インタビュー

事業戦略は、モノづくりをなりわいとする当社グループの確かな成長を促す屋台骨にあたります。

5つのセグメントを代表する6名に、担当する事業セグメントについて、そして社会課題となりつつある人材戦略や、当社の「長期ビジョン」が目指す2030年におおのが「ありたい姿」について想いを語っていただきました。

5つのセグメントが活動する市場は異なりますが、2030年に向かって持続的成長を遂げるという「志」は共通しています。



#### (2) 監査役2名による、企業統治をテーマにした対談

2023年度も、企業不祥事が取りざたされることの多い1年でした。当社も、2023年9月にパーキングシステム事業部の営業取引に関して公正取引委員会の検査を受けております。

こうした社内外の状況を踏まえ、当社グループの業務監査、会計監査をつかさどる立場の監査役お二人に、今の時代における役割や、会社に期待することなどを語っていただきました。

※本年11月の特装車事業に対する独占禁止法違反の疑いにかかる立入検査は、本誌発行後に生じた事象となります。



#### (3) 前中期経営計画[SG-2023]で飛躍した二つのセグメント長と社長による鼎談

株主の皆様のご多くが連想される当社事業の代表格は、「特装車」「航空機」ではないでしょうか。

前中期経営計画の期間中、業績の伸長率・貢献度において、この二つをしのぐ成果をあげた産機・環境システムセグメント、流体セグメントの長を招き、社長を交えた鼎談を企画しました。

くしくも入社して最初に配属された事業部が同じだったという3名が、近年存在価値を高めた両セグメントの現況と将来について語っています。



# 企業情報・株式に関する情報

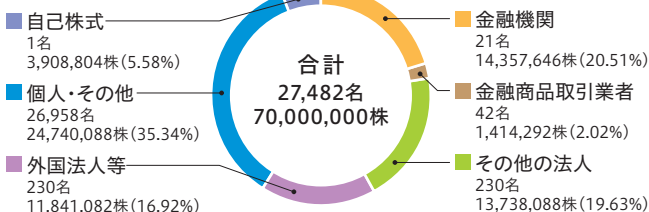
## 会社概要 (2024年9月30日現在)

商号 新明和工業株式会社  
設立年月日 1949年11月5日  
資本金 15,981,967,991円  
従業員数 3,393名  
連結従業員数 6,478名

## 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 ..... 300,000,000株  
発行済株式の総数 ..... 70,000,000株  
単元株式数 ..... 100株  
株主数 ..... 27,482名

### 株主構成



( )内の数値は株式数の比率。四捨五入した数値を表示しております。

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,123,100	12.29
三信株式会社	6,749,065	10.21
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,412,000	6.67
新明和グループ従業員持株会	3,240,605	4.90
住友不動産株式会社	1,837,800	2.78
東洋ビルメンテナンス株式会社	1,391,300	2.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,254,183	1.89
新明和グループ取引先持株会	1,056,669	1.59
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	913,300	1.38
JP MORGAN CHASE BANK 385781	777,217	1.17

(注) 持株比率は、自己株式数 (3,908,804株) を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 役員

役員については当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinmaywa.co.jp/company/outline.html>

詳しくは  
こちらから ▶



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日  
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日

・2025年3月期 1株当たり中間配当金:25.0円  
配当金 ・2025年3月期 1株当たり年間配当金(予想):50.0円  
(配当性向44.0%)

定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人/特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 各種手続きについて

#### 証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

#### 特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

### 株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

### 表紙のこぼれ

漫画家 今日マチ子さんが描く新明和工業。今回表紙を飾るのは、US-2型救難飛行艇の試験風景です。同製品の製造拠点、甲南工場(兵庫県神戸市)は海に面しています。新たに製造した機体やオーバーホールを終えた機体の試験飛行は、南面に設けたスロープから海に入り、「船」の状態で沖に出てから海面を飛び立ち、一定時間飛行した後、再び海面に着水します。このイラストは、一連の試験を終えた機体を工場に導く様子を描いてもらった1枚で、従業員の表情から、試験を無事終えた安堵感が伝わってきます。



それじつは、  
シンメイワ。

新明和工業株式会社  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

\*本イラストは、当社のブランドムービーを構成する1枚です。

ブランド  
ムービー ▶



新明和工業株式会社

<https://www.shinmaywa.co.jp/>

〒665-8550  
兵庫県宝塚市新明和町1番1号  
TEL 0798-56-5000 (代表)

